

訪問看護ステーションの設置を早期に
答 積極的に取り組む



益子明美議員

が、町の考え方は。

【答弁】 訪問看護ステーションの設置で、介護と看護の充実が図れる、医療の大切な問題と認識している。

絵本づくりの
授業の継続を

【質問】 在宅での療養生活のサポートより充実した介護のために、訪問看護ステーションの設置が早急に必要であると考えるが、町の考え方は。

【答弁】 必要であると考え、設置に積極的に取り組む。

【質問】 住民の理解と認識のために、普及啓発に取り組むべきと考えるが、具体的な方策はあるか。

【答弁】 訪問看護の潜在的な需要はあると考えている。料金や利用方法等について事業関係者の組織等で啓発を今後行っていく。

【質問】 介護と看護の組み合わせでより良い在宅医療の構築を実現すべきである

【質問】 8年間にわたり小川南小学校で指導をして下さった、いわむらかずおさんの絵本づくりの総合学習の授業が統合により終了する。素晴らしい授業だったので、形をかえて生涯学習の場として、継続していく考えはないか。

【答弁】 子ども達は自然とつながりを大切にしたい体験活動を通じて、自分なりの観察力、企画力を発揮して一冊の本を完成させてきた。この過程で培われた豊かな心など、生きる力の育成に大いに役立った活動であると考える。今後は、生



いわむらかずおさんの小川南小での絵本づくりの授業

涯学習の場で青少年教育の一つの方策として実施していく方法を考えながら関係者等で検討していく。

【質問】 親子での絵本づくりということを考えてはいかがか。

【答弁】 親子で絵本づくりということも一つの方法として考え、話し合っていく。

高速バスで東京からの
観光客誘致を

【質問】 茨城交通が秋葉原と笠間・益子を結ぶ高速バス

ついでにはどのように話し合われているか。

【答弁】 八溝山周辺地域定住自立圏構想において、圏域内の観光スポット、体験観光、グルメ、開花情報等を季節ごとに旅行会社へ売り込むために組織づくりを提案しているところである。

【質問】 観光客のターゲットを30代から40代の女性にシフトして、情報発信の仕方を工夫していることを益子町で聞いてきた。那珂川町でも女性の視点を生かしたパンフレット作りや、情報発信の仕方を考えてはどうか。

【答弁】 観光地としてのポイントに食と花があると考えている。宇都宮メディアアーツ専門学校などの産学官連携により作成した那珂川町特産品ガイド「なか通」や「那珂川町るるぶ」は好評を得ている。これらの活用をさらに充実させPRにつなげたい。ご提案のパンフレット作りや情報発信の方法について、さらに研究を進めていきたいと考える。

【答弁】 民間高速バス会社に対しては那珂川町のPRをし、チャレンジしていく必要性があると考えている。

【質問】 地域と連携することにより、よりメリットが増す観光事業であるが、現在、八溝山周辺地域定住自立圏構想の中で、観光の連携に